

「マイナビ 2022 年卒 内定者意識調査」を発表 内々定者のうち、就職活動を終了した学生は 69.5% 内々定式をはじめとした「内定者フォロー」は対面を望む割合が多い結果に

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：中川信行）は、2022 年卒業予定の全国の大学生、大学院生のうち、内々定を保有している学生を対象に実施した「マイナビ 2022 年卒 内定者意識調査」の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆ 入社予定先を決めて就職活動を終了した割合は 69.5%。内々定保有社数の平均は「2.0 社」で前年を上回りコロナ禍前と同水準に【図 1、2】
- ◆ 入社予定先を決めた後、不安になったことがある学生は 60.8%【図 3、4】
- ◆ 内々定者フォローは対面での実施を希望する割合の方が高い。特に対面での実施が望まれているのは「社内見学」「内々定式」「研修」【図 5】
- ◆ 内々定を得た企業の人事担当者などから伝えられた「入社を決意した一言」は、「あなたと一緒に働きたい」など。「ガクチカ」を褒められたことが入社を決め手につながったという学生も【図 6】

【調査概要】

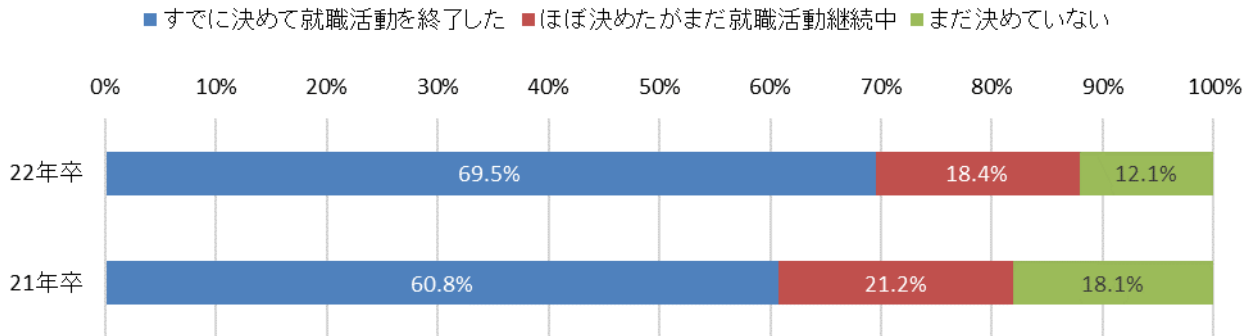
内々定を保有している学生の入社予定先について「すでに決めて就職活動を終了した」学生は 69.5% となり、前年より 8.7pt 増加した。内々定保有社数は全体平均で 2.0 社となり、前年の 1.87 社を上回って、コロナ禍前の 2020 年卒（2.13 社）の水準に回復しつつある。前年より内々定保有社数が増え、入社先を検討する際の選択肢が広がっているようだ。【図 1、2】

入社予定先を決めた後、不安になったことがあるか聞いたところ、「不安になったことがある」と回答した割合は 60.8% だった。不安になった理由で最も多かったのは、「社会人としてやっていけるかどうか（21.8%）」、次いで「この会社できちんと務まるかどうか（17.5%）」「自分がこの仕事に向いているかどうか（17.0%）」だった。【図 3、4】

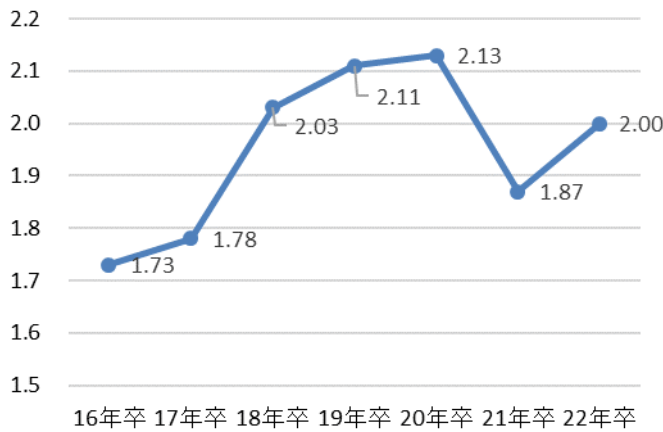
内々定者フォローについて対面か WEB のどちらを望むか聞いたところ、特に対面が望まれているのは「社内見学・工場見学・施設見学」が 83.2%（対面で実施してほしい（61.6%）＋対面で実施希望だが、状況に応じて WEB に変更してほしい（21.6%）の合計）、「内々定式」が 75.0%（対面で実施してほしい（45.2%）＋対面で実施希望だが、状況に応じて WEB に変更してほしい（29.8%）の合計）、「研修」が 73.0%（対面で実施してほしい（46.3%）＋対面で実施希望だが、状況に応じて WEB に変更してほしい（26.7%）の合計）だった。内々定者フォローは入社予定先とのマッチングを再確認するフェーズにあたる。WEB 形式だけで完了させるのではなく、企業を訪れて社風や仕事内容を知ったり、同期と交流したりすることで、不安解消を望んでいると推察される。【図 5】

「内々定を得た企業の人事担当者あるいは人事以外の人から伝えられた『入社を決意させた』一言」についてフリーコメントで聞いたところ、「あなたと一緒に働きたい」「あなたと会えることを楽しみにしています」といった趣旨のコメントが多く見られた。一方で、学業や課外活動など学生生活で力を入れていたこと（＝ガクチカ）について、企業担当者からの好意的なコメントをもらい、入社を決意したという回答もあった。2022 年卒の学生は、コロナ禍で登校できなかつたり、アルバイトや課外活動が思うように行えなかつたりしたため、自身の学生生活により自信が持てるだけでなく、入社を決め手として好印象に受け止められたようだ。【図 6】

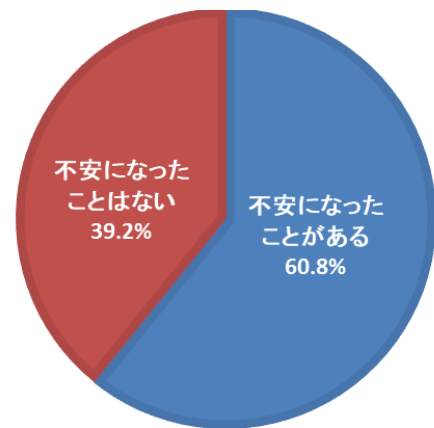
【図 1】 入社予定先の企業は決めたか



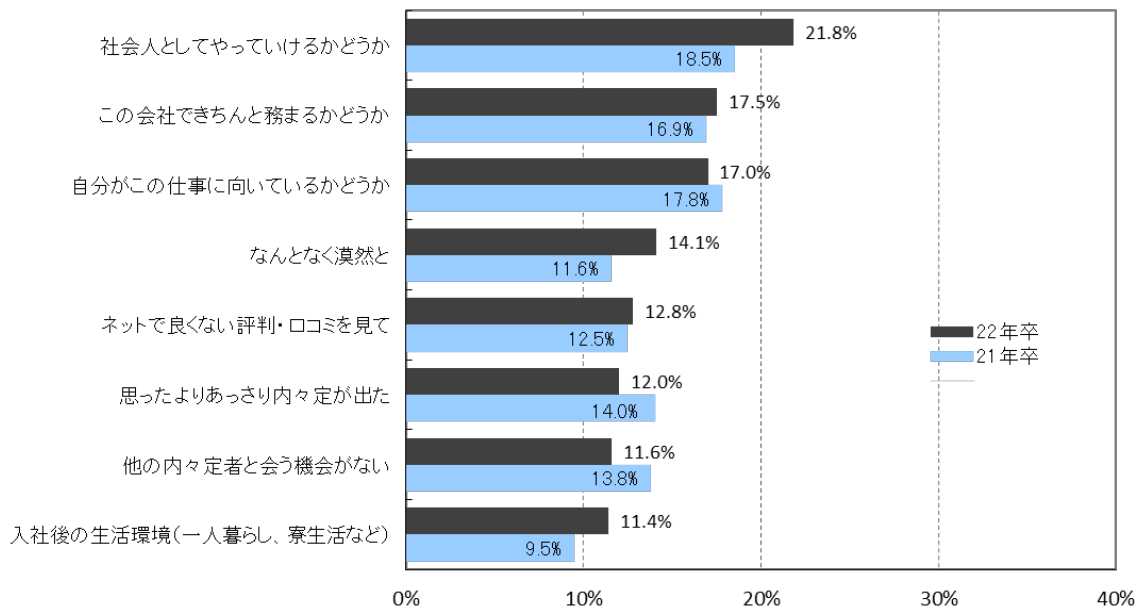
【図 2】 内々定保有社数（平均）の推移



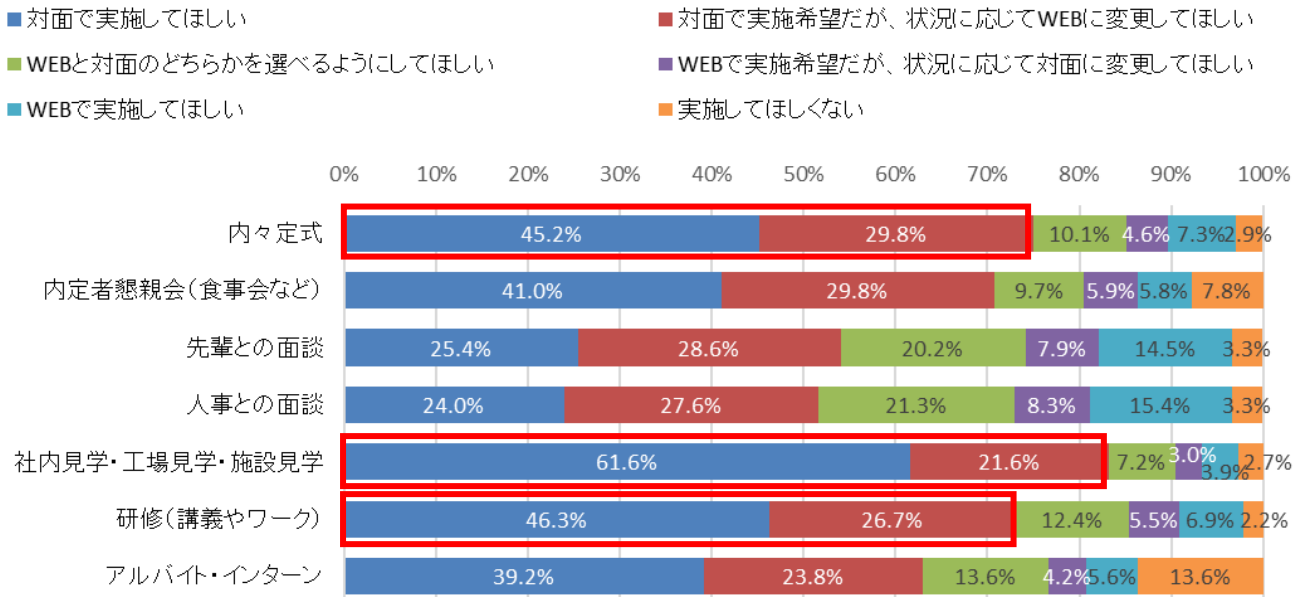
【図 3】 入社予定先企業を決めた後、不安になったことはあるか



【図 4】 入社予定先企業を決めた後、不安になった理由（上位抜粋）



【図5】内々定者フォローについて、どのように実施してほしいと思うか



【図6】内々定を得た企業の人事担当者あるいは人事以外の人から伝えられた『入社を決意させた』一言 (一部抜粋)

「一緒に働きましょう」パターン

文系女子	あなたと一緒に働きたい
理系女子	あなたと会えることを楽しみにしています。

「ガクチカ」に共感パターン

文系女子	私のガクチカに対して、「素晴らしいご経験をされましたね。」と褒めてくださった一言。
理系男子	「学生時代にいい経験をしてきましたね。入社後も活躍できると思います。」
理系男子	私が努力したところを認めてもらい、「その努力や取り組みは会社に入った後も重要な事だから、強みとして自信もっていいことだよ。あなたの採用活用に関わってくれた。」と言われたこと。
理系男子	学生時代で一番嬉しかったことを聞かれた際に「部活動の大会で優勝したこと」と答えると、「チームで何かを成し遂げた経験はチームでの研究活動に活かす」と言ってもらえたこと

「選考へのプレミア感」パターン

文系男子	「〇〇さんを他の企業より先に採用したいので、面接日程を一番最初にして頂きました。」
文系男子	「〇〇さんには是非弊社に入社して頂きたいので、他の学生さんとは異なる選考フローになっています。」
理系女子	選考を受けている中で第一希望だったこともあり、しかも言葉ではないが、誕生日に内々定の連絡を頂いたこと。

「学生のキャリアを応援」パターン

文系男子	「あなたのキャリアビジョンに感銘を受けたので、その目標を持ち続けてください。」
文系女子	「あなたにはぜひプロジェクトを任せてみたい」
文系男子	「あなたが当社で成し遂げたいと考えることに対し、入社が決まったその瞬間から全力のサポートを開始します。」

「他社の選考も含め、就活全体を応援」パターン

文系男子	「こんなことを言うのはおかしいのですが、もしも弊社よりもっといいマッチングがあったら私まで遠慮なく相談してください。人事コンサルとしてアドバイスしてあげられると思いますよ」
理系男子	「第一志望でなくとも、いつまでも内定承諾の連絡を待っています」
文系女子	他の企業とよく比較して自分の納得のいく就活をしてくださいと背中を押されたこと。

【調査概要】「マイナビ 2022 年卒 内定者意識調査」

- 調査期間／2021年6月16日（水）～7月5日（月）
 - 調査方法／WEBフォームによるアンケート
 - 調査対象／2022年卒業予定で内々定を保有している全国の大学生、大学院生
 - 有効回答数／4,148名（文系男子 665名 理系男子 922名 文系女子 1,621名 理系女子 940名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認いただけます